



サンクト・ペテルブルグから南へ車で片道三時間、古都ノヴゴロドにある聖ソフィア大聖堂（十一世紀）の鐘楼（筆者撮影）

ロシアの風景の中で

和田 葉子

三月初旬、ヘルシンキから汽車で六時間、ロシアのサンクト・ペテルブルクに向かう旅が始まった。汽車はロシア製である。窓枠やひじ掛け、壁などは木でできていて、がっしりとした古い船色になった車両であったが、どこか、なつかしい感じがする。発車すると間もなく、ワゴンを押す女性が通路に現れる。コーヒーでも売りに来たのかと思ったら、ロシアの通貨を両替に來たのであった。ロシアの現地より、車内の方が交換レートがよいという。車窓からの景色は真っ白な雪景色の林と草原が続くばかり。夕食に出かけた食堂車の各窓には濃いピンクのカーテンがギャザーたっぷりにかかり、テーブルには本物の花が置かれている。ウォッカとギンギア（メニューにあった「赤ギンギア」は日本のイクラだった）にちなみに「イクラ」はロシア語である）が安価なので、外国からの客はここをばかりに注文して、たろく食べながらゆっくり過ごしている。

サンクト・ペテルブルクの駅に到着すると、すでに夜の九時を過ぎていた。雪景色の中、ホテルまで車で二十分ほどの道のりだったが、急に何度も左右に激しく揺れながら進む。「飲酒運転では」と一瞬不安にかられたが、実は、道のあちこちに穴があいているので、それらを避けるための方策だったのである。

招待を受けたサンクト・ペテルブルク国立大学でのセミナーの他は、毎日、ロシア国立図書館へ写本調査にでかけることにし、閉館の夜九時まで古文書と過ごした。若い人は英語を話せるようにはなっているものの、一般にはまだ、ホテルのフロント係以外は英語を使える人はほとんどいないといつてよい。国立図書館でさえ、美しいフランス語やドイツ語を流暢に話す教養のある司書は数名いたが、その人たちも英語だけは話せなかった。英語が世界の共通語などということが妄想であることを思い知らされる。

国立図書館までは地下鉄を利用した。ロンドンの地下鉄も日本に比べてかなり深い、ここサンクト・ペテルブルクの地下鉄のエスカレーターの長さはロンドンの三〜四倍くらいはあるかもしれない。それが、恐ろしく速く、しかも力強く動いている。中は薄暗く、物凄い数の人々で常に満員だった。不思議だったのは、ホームから見上げればすぐ見える位置の両側に一つずつ電光掲示板があって、〇分〇秒から四分〇秒まで、電車の発着とはまったく無関係に、繰り返しかウントされ続けていることである。ロシア人に尋ねても、何のための時計か知る人はなかった。ある外国人によると、これは冷戦時代の名残りで、こんなに深い地下鉄は核シェルターとして建設されたことは明らかである。従って、警報が鳴って原爆が落ちるまでの四分以内に、マニュアル通りに避難するための時計ではないか、という。真相を御存じの方は是非お教え願いたい。

（外国語教育研究機構教授）

もし、君の手帳の五月二十日（土）の午後が空欄なら、母校の野球の応援に一緒にいかないか。関西学生野球春季リーグ、対関西学院大学、伝統の一関開戦だ。甲子園球場で見る、もう一つの関西大学の自慢の姿がある。今季の関大は強い。安定感を増した投手陣、緩急交え変化球が冴えわたる。打撃陣も上位打線、下位打線とも切れ目なく暴れまくる。たとえ敗れても、選手同士の互いの掛け声が、悔しさを爽やかにかき消してくれるチームカラー。監督も若い。気合がスタンドまで届く。スタンドから攻めにまわる応援団。一糸乱れぬ動きには、もう感服だ。チアリーダーやフラスパンドの完成されたダンスや演奏は、長時間の厳しい練習風景を想像し、胸を熱くする。君たちとは異なる一途な関大生の姿だ。春の青空の下、デートの場所としても最適な。アルバイトを生活の主体にしてしまつて、携帯電話とちよつとした海外旅行が楽しみで過ぎてしまつた四年間と対比させてみてほしい。球場を後にする頃には、口をついて出てくる言葉と、自分も何とかなければ」と、さややかな目標とやる気が湧き出てくるに違いない。（西本秀樹）

HEADLINE

8	7	4	3
面	面	面	面
今年度の就職状況	シンポジウムを終えて	法科大学院構想に関する	館「7月に竣工
		特集	春季人権啓発行事の案内
			新大学院棟「尚文

大学人事

所長 社会学部教授 東村 高良 (再任)
▼教職課程研究センター
次のおり発着された。
文学部教授 玉田 勝郎 (再任)
文学部教授 加勢田 博 (再任)
経済学部教授 加勢田 博 (再任)
文学部教授 上井 久義 (再任)
文学部教授 井上 克人 (再任)
文学部教授 永沼 博道 (再任)

電気化学会功績賞



松田好晴教授が受賞
松田教授は「電気・重層キャパシタの電解質に関する研究の先駆的役割を果たし、その研究成果が多くの評価を受け、受賞の栄誉に輝かれた。



松田好晴教授が受賞
松田教授は「電気・重層キャパシタの電解質に関する研究の先駆的役割を果たし、その研究成果が多くの評価を受け、受賞の栄誉に輝かれた。

難局乗り越える手腕に期待

経済学部長 加勢田 博
経済学部長 加勢田 博
経済学部長 加勢田 博

新役職者紹介

松田好晴教授が受賞
松田教授は「電気・重層キャパシタの電解質に関する研究の先駆的役割を果たし、その研究成果が多くの評価を受け、受賞の栄誉に輝かれた。

次世代高度情報社会への舵取り

松田好晴教授が受賞
松田教授は「電気・重層キャパシタの電解質に関する研究の先駆的役割を果たし、その研究成果が多くの評価を受け、受賞の栄誉に輝かれた。

キャンパスベンチャーグランプリ

本学の3人が入賞

学生ベンチャーグランプリ
学生ベンチャーグランプリ
学生ベンチャーグランプリ

大学院生の田村君に学術奨励賞

経済学部長 加勢田 博
経済学部長 加勢田 博
経済学部長 加勢田 博

産業界、行政界、地域社会とのパイプ役を

松尾正 松尾正 松尾正
松尾正 松尾正 松尾正
松尾正 松尾正 松尾正

実務の立場から有益なコメントを

法学研究所長 山川雄己
法学研究所長 山川雄己
法学研究所長 山川雄己

法学研究所長 山川雄己
法学研究所長 山川雄己
法学研究所長 山川雄己

名誉教授の称号 9氏に贈る

名誉教授の称号 9氏に贈る
名誉教授の称号 9氏に贈る
名誉教授の称号 9氏に贈る

取学 得位

取学 得位
取学 得位
取学 得位

取学 得位
取学 得位
取学 得位

取学 得位
取学 得位
取学 得位

取学 得位
取学 得位
取学 得位

春の人權啓発行事

春の人權啓発行事
春の人權啓発行事
春の人權啓発行事

六つのテーマで講演会

六つのテーマで講演会
六つのテーマで講演会
六つのテーマで講演会

高槻キャンパス祭

高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭



高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭



高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭
高槻キャンパス祭

生きた語学を身につける 夏期語学セミナー参加者募集

生きた語学を身につける
生きた語学を身につける
生きた語学を身につける



生きた語学を身につける
生きた語学を身につける
生きた語学を身につける

留学生新入生の歓迎会を開催

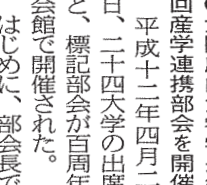
留学生新入生の歓迎会を開催
留学生新入生の歓迎会を開催
留学生新入生の歓迎会を開催



留学生新入生の歓迎会を開催
留学生新入生の歓迎会を開催
留学生新入生の歓迎会を開催

先輩達とも交流の場設け

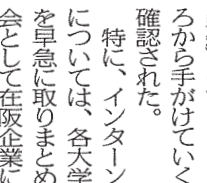
先輩達とも交流の場設け
先輩達とも交流の場設け
先輩達とも交流の場設け



先輩達とも交流の場設け
先輩達とも交流の場設け
先輩達とも交流の場設け

自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!

自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!
自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!
自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!



自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!
自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!
自動車・モーターバイク 通学は全面禁止!

新大学院棟「尚文館」7月に竣工



「尚文館」完成予想図(南東方向から臨む)

新しい「知の創造」の パラダイムの構築へ

未来に向かって大きく変貌する大学院

二十一世紀に向けて、いま大学は大きく変わらねばならない。その役割が、大きく教育に傾斜し、一体「知の府」としての研究が中心となるのかと

いう懸念もいわれている。この七月には、総合図書館の北側に、地下一階、地上七階の

新大学院棟「尚文館」がその勇姿をみせる。総面積は約一、九〇〇平方メートル。これは、今日の情報社会に相応しいネットワ

ークを視野にいれ最新の情報機器が整備されている。この大学院の充実と物的拡充は、ここ数年の様々な大

学院改革の成果であることも、大学院が未来に向かって大

講義室や研究 設備を中心に

本年七月に新しい大学院棟「尚文館」が竣工する。尚文館は大学院の講義室や大学院生の研究設備が中心であるが、大画面のスクリーンを設置するなど「ベンチン

近年、国立大学では学院の重点化が進められ、相当規模の予算を受けて定員増も行われてきた。またこれからは、高等学校までの教員が大学院に通いやすくなるなど、大学院を取り巻く環境は変化してきている。関西大学が、学歴、大学院ともにい

その発展を目指すうえで、新しい施設は大きな役割を果たしてこれることだろう。もちろん、施設を利用する側にも求められる責任が重大であることは言うまでもない。

きく変貌する出発点でもある。したがって、「知の府」たるべき大学は、ここ数十年、大衆化といふ名のもと種々の拡張的な施策を推し進めてきたが、この「教育パブル」も今や崩壊期に入っている。近時の大学改革のラッシュは、大学が延命のためのやり繰りをする姿としての一面もある。

しかし、この大学改革ないし大学の変化の本質は、「知の府」がこれまで共有してきた、①ものの見方、②問題の立て方、③問題の解決の仕組み全体、すなわち、「知のパラダイム」が大きな転機にきていることにあると考えられる。

二十世紀は、十九世紀の時代精神ともいえる「近代主義」を引き継ぎ、過去の宗教的権威や道徳的規範に立脚する伝統主義と絶縁し「合理的精神の具現」を普遍原理として、社会や文化の構築に突き進んだ時代であった。

が、その基底をなしている。したがって、たゞは、社会人へのリカレン教育に携わたり、研究の役割を社会に対して説明する責任(アカウンタビリティ)を求められた。それらは、おおむね「近代主義」をベースとしてきた二十世紀の研究者にとって何かに異質なものを感じてはいた。自然や社会の相互性や構造的な運動の不確定性、経済の不確実性等に直面し、それを基盤として新たな知の創造を構築しようとする視点からみれば、そのような危機感との関わりは必ずしもアカデミズムとは相いれない異分子ではない。

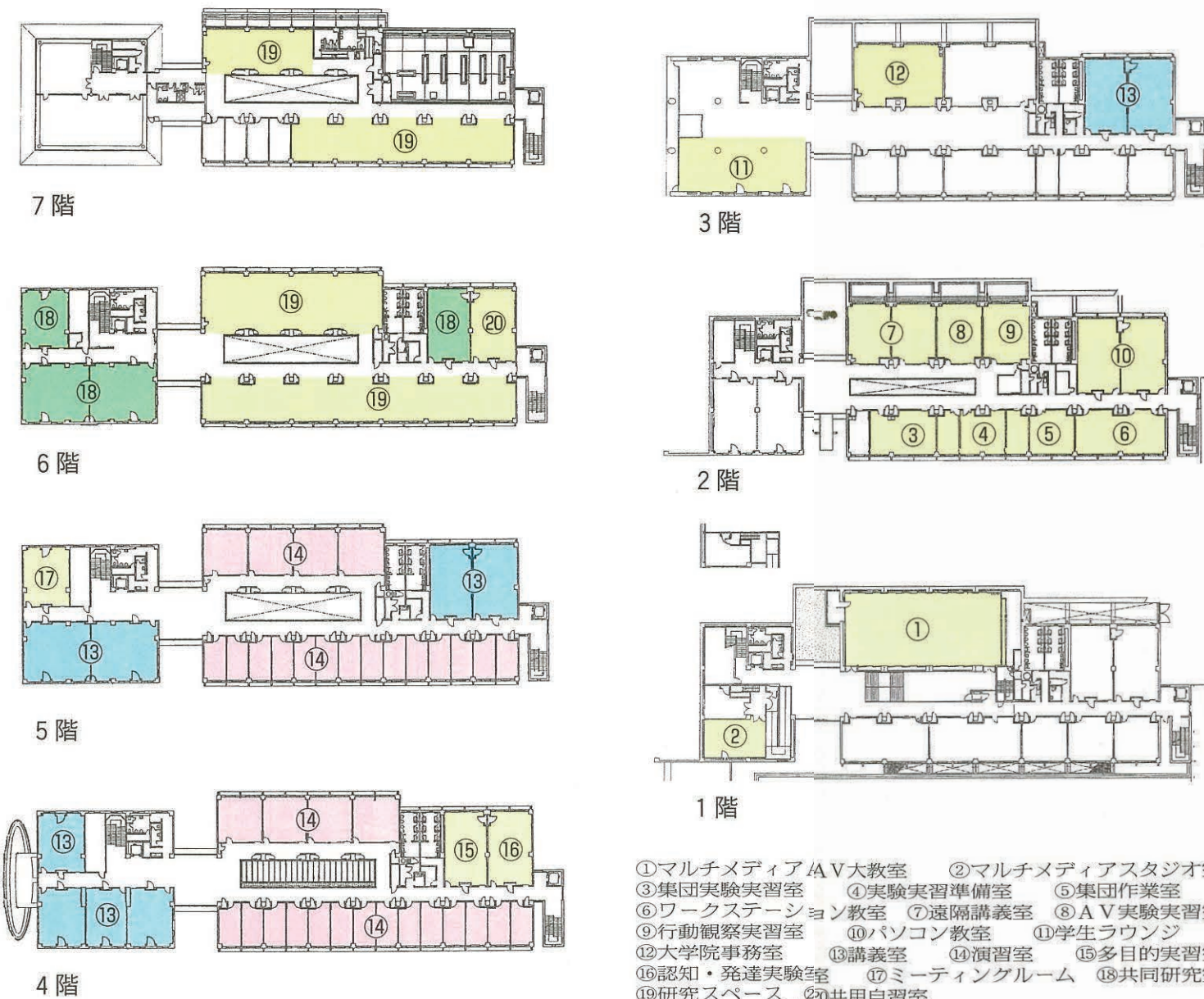
その実践は、むしろ、アカデミズムが、分析主義的な「知の創造」のパラダイムを再考し、二十世紀が課題として残した新たな枠組みを構築する貴重なチャンスともなりうる。

種々の大学改革論議のなかで、「大学の社会還元」というフレーズをよく目にする。しかし、それはアカデミズムへの挑戦ではなく、アカデミズムの思考の転換を意味するものと解される。

大学院五十周年。新しい大学院棟には、まさに、センター・オブ・エグゼレンスとして、「知の府」の再生の基幹となることが期待される。

(法学部教授)

尚文館平面図



- ①マルチメディアA/V大教室 ②マルチメディアスタジオ室 ③集団実験実習室 ④実験実習準備室 ⑤集団作業室 ⑥ワークステーション教室 ⑦遠隔講義室 ⑧A/V実験実習室 ⑨行動観察実習室 ⑩パソコン教室 ⑪学生ラウンジ ⑫大学院事務室 ⑬講義室 ⑭演習室 ⑮多目的実習室 ⑯認知・発達実験室 ⑰ミーティングルーム ⑱共同研究室 ⑲研究スペース ⑳共用自習室

本年四月、高槻キャンパスに情報学の博士の学位が取得できるドクターコースが発足しました。

正式には、本大学院総合情報学研究科に博士課程後期課程総合情報学専攻が設置され、これまでの修士課程は博士課程前期課程となりました。これらの課程は、通称「それぞれ、ドクターコースおよびマスターコースと呼ばれています。

平成十二年、西暦2000年の記念すべき年、また、本大学院発足五十周年の年の発足となりました。

本ドクターコースの入学定員は八人で三年間のコースです。幸い、本科への世の関心が高く、大方の予想を越えて、その第一期生への志願者は十四人に達しました。そのうち十一人が入学しました。大変よくて

るほど、ますます急激な進展をみせ、二十世紀の高度情報社会を迎えようとしています。この変革の時代、新しい社会環境

にいたった経緯を紹介いたします。まず、平成四年四月には、文理総合の「情報ジェネラリス

を有する職業人である「情報スペシャリスト」を養成するための、社会情報学専攻と知識情報学専攻の二専攻による総合情報

を有する職業人である「情報スペシャリスト」を養成するための、社会情報学専攻と知識情報学専攻の二専攻による総合情報

を有する職業人である「情報スペシャリスト」を養成するための、社会情報学専攻と知識情報学専攻の二専攻による総合情報

総合情報学研究科に ドクターコース発足

「情報パイオニア」を目指す

「コース」もまたこのような重要な社会的要請にたえずと

次に、本ドクターコースの設

ト」の養成を目指し、総合情報学部が開設されました。

次に、平成四年四月、その完

成を引き続き、高度な専門知識

をもち、ドクターコースの「情報パイオニア」の養成の理念で、関西大学の情報分野に二つの教育体系が完成しました。

ドクターコースのカリキュラムの骨子を紹介します。次の五つの研究領域、即ち、五本の柱からのスタートです。高度情報システム、「応用ソフトウェア・エンジニアリング」、「認知情報処理」、「意思決定システム」、「マルチモダルコミュニケーション教育」の五研究領域です。

それぞれの研究領域で第一期生が、関西大学で初めての「情報学の博士」をめざして、めざしたスタートです。将来、さらに多彩な研究領域でコースを充実させ、高槻キャンパスは「総合情報学のメッカ」になることを目指します。

(総合情報学専攻教授)

大学院部長
永田真三郎

(7)

採用増えるが依然「氷河期」

今年度の就職状況

分析・粘り・就職部の活用

就職部長 高森八四郎

景気低迷が長期化し、永らく厳しい雇用環境であったが、日銀の景気見通しでは、今後、若干明るい傾向との発表があった。採用面でも採用増を打ち出す企業も多くなっているが、採用にあたっては、「厳選採用」であり、厳しい選考が行われていくに変わりはない。就職協定廃止からすでに三年が経過し、手

加するだけに、自分の適性、能力、関心についてよく考え、つまり自分で分析し、併せて業界および企業研究を十分すること。これは、是非心掛けてほしい事柄である。長期化している就職活動を克服し、納得のいく結果を得られんことを切望する。(法学部教授)

支援システム充実

iモードでも検索可能に

職の内々定が出されまし

以上で厳しくなるでし

平成十二年度は、前年度と同様に、大学と企業による就職協定は締結されず、大学側と企業側においてそれぞれ就職活動に関する「申告」と採用・選考に関する「倫理憲章」を設け、それぞれに尊重に努めることの確認がなされました。これにより、大学側及び企業側が自主的に就職、採用活動の基準を設け、遵守していくこととなり、この方式は本年度で四年目となっています。

就職部では、学生への就生と企業との接点が増え、四月上旬には都市銀行総合職指導として、昨年の十月

も学内設置のオープン利用可能なインターネットパソコンのみならず、自宅でも利用できる就職支援システム(KIPS)の充実を図

別表1

順位	会社名等	就職者数
1	ジャスコ	34
2	日本生命保険	31
3	大阪府警察官	25
4	国家公務員Ⅱ種	24
4	安田火災海上保険	24
6	安田生命保険	20
7	大和銀行	17
8	ノヴァ	15
9	尼崎信用金庫	14
9	三和銀行	14

別表2

順位	会社名等	就職者数
1	松下電器産業	12
2	一条工務店	9
3	積水ハウス	8
3	日立西部ソフトウェア	8
3	メイテック	8
6	日立製作所	7
7	国家公務員Ⅱ種	6
7	富士通	6
7	松下システムテクノ	6
10	三菱重工業	5

就職部では、学生からの就職に関する相談をいつでも受け付けています。学生諸君が、納得のいく就職活動ができるよう健闘を祈ります。(就職部)

情報連携電話(iモード)でも検索できるよう拡張開発し、この四月から本格稼働しています。KIPSの利用や携帯電話からの情報は、就職活動の学生だけでなく、二年次生など関大生なら、特に手続きや登録をし

企業説明会を実施する予定で、様々な業界から一〇〇社以上の企業が参加し、いずれの企業も優秀な関大生を見つけたという期待で参加されます。学生諸君には、自分に合う企業などこの機会に見つけてほしいものです。二・四・六企業(従業員員三〇〇人以上)へ二



就職支援システムが充実された就職情報資料室

なっても、全員の就職先が決定するまで、問い合わせ下さい。今後の行事は、学生と企業との面談の機会を確保するため五月、六月、七月に、関大生を活動者の九割以上の学生が採用したいという企業を学内に招いての就職の内定を得ました。文部、労働省が今年二月一日時点で調査を行った大学(学部)卒業予定者の就職内定率八・六%(二月一日現在)を大幅に上回る状況でした。これは、ひとえに本学学生の努力の結果であり、また関西大学が企業等から高い評価を得ていることの結果といえます。規模別では、巨大企業(従業員員三〇〇人以上)へ二

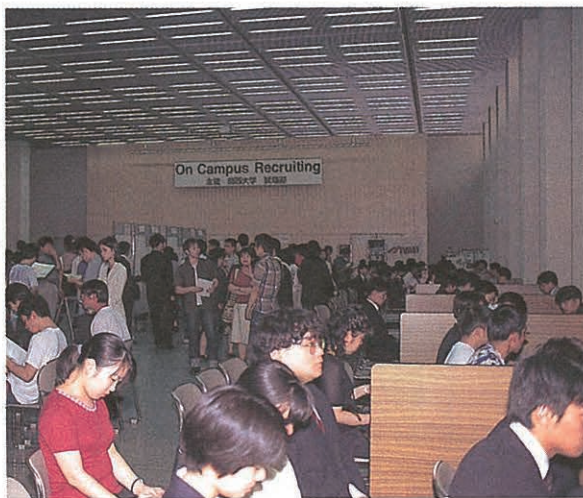
今月の表紙

和田葉子(わだ・ようこ)教授 専門は中世英語学と西洋文学。日本と海外で同時出版された中英語作品のイディオンや図書館協会選定図書になった翻訳『中世ウェルズをゆく』など著書多数。

編集後記

新年度も一か月が過ぎました。以前と違い、四年生の就職活動はすでに春休み前からはじまっています。現代は労働市場の流動化が指摘され、必ずしも終身雇用は前提になっていませんが、それでも社会に出る第一歩が非常に重要な意味を持つことに変わりはありません。悔いの残らないように十分考え、結論を出して欲しいと願っています。本号では七月に竣工予定の新大学院棟(尚文館)の紹介を行っています。施設を無駄にすることなく有効に活用することが、我々にとっての責任となります。そして、数多く開催されている公開講座の特集も組みました。「社会に開かれた大学」は今日の大学に求められる一つのテーマです。新しい施設も活用しながらこれまで以上に公開講座の充実が求められると思います。(林 宏昭)

多数の学生でにぎわう
オンキャンパスリクルーティング



就職部では、学生への就生と企業との接点が増え、四月上旬には都市銀行総合職指導として、昨年の十月

KUカレンダー

- 5月15日(月) 18日(木) ◇人権啓発行事(19日まで) ◇院・博士前期学内進学試験(筆記=文・社) ◇情・日本育英会(第一種・第二種)奨学生受領資格確認(19日まで、きぼう21プラン奨学生を除く)
- 19日(金) ◇工技研公開講座「ベンチャー論」(14:40 学術フロンティア・センター3階会議室)「ベンチャーと知的財産権」松下技術情報サービス・祇園尚甫氏
- 20日(土) 21日(日) ◇院・博士前期学内進学試験(筆記、口頭=情) ◇教育後援会総会・学部別教育懇談会
- 22日(月) ◇院・博士前期学内進学試験(口頭=法・経) ◇日本育英会(第一種・第二種)奨学生受領資格確認(情以外の全学部、26日まで、きぼう21プラン奨学生を除く)
- 23日(火) ◇夏期英語・中国語語学セミナー申し込み締め切り ◇院・博士前期学内進学試験(筆記=商、口頭=文、商、社)
- 26日(金) ◇人権研公開講座(13:00 第2学舎A306R)「藤村『破戒』と部落問題」文・吉田永宏教授 ◇教員志望者相談室開設日 ◇高槻キャンパス祭
- 28日(日) 29日(月) ◇学内合同企業説明会・オンキャンパスリクルーティング(12:00と16:00 新関西大学会館ホール) ◇院・博士前期学内進学試験(筆記=工)
- 31日(水) ◇大学昇格記念日 ◇院・博士前期学内進学試験(口頭=工)

次号は6月12日発行の予定です